

## ミャンマー慰霊友好 親善事業に参加して

平成10年度 遺児慰霊友好親善事業参加者

四万十市 松野一雄

長年の念願が叶い、一度は訪れたいと思っていた父の眠る北ビルマへ、戦没者遺児による慰霊友好親善訪問団の一員として全国各地から集まった35名の遺児と共に、参加させていただきました。

11月19日、結団式靖国神社昇殿参拝の時は、遠く異国の地で家族の行く末を案じ乍ら、戦禍にたおれた父の無念さを思い、胸が熱くなりました。

20日早朝、成田出発バンコク経由でヤンゴンへ夕刻到着。父の眠る地に

降り立ちました。朝から巡拝が始まるかと思うと長く眠ることが出来ず21日の朝を迎えました。

飢餓に苦しみながら、道なき道を行軍したであろう密林を眺めながら、バスと飛行機で移動し、戦没地に近いところ4か所で飯森団長の進行により個人慰霊追悼式をしていただきました。

持参した供物を備えて積年の想いを亡き父に語り掛けました。物心ついたとき、すでに母はなく、淋しい幼年期を過ごしましたが、現在は二人の息子をもったことなどを報告して、限られた時間でしたが供養することが出来、胸のつかえが取れたように思います。

訪問のもう一つの目的でありました友好親善では、体を壊してしまい参加が出来ず誠に残念としかい様が無い。しかし、父の眠る地に来られたことは

生涯の思い出となりまた、生きる糧にもなると確信しました。

今の幸福は沢山の血が流された結果の上に築かれていることを忘れる事なく精いっぱい生きたいと思うこの頃です。

カレミヨにて慰霊

※令和3年7月高知県遺族会報掲載